

構成図



フィールド実証

2020年度中に、今回展示の遠隔共同作業およびXR会議を使った実証実験を予定

2020年

2020年1月 ホログラムを活用した遠隔共同作業
※今回展示ソリューション

2019年

2019年9月 5Gを用いた複数台の3Dカメラを用いて360度のリアルタイムホロポーションの実証実験

2019年5月 5Gを用いた3Dカメラを用いたリアルタイムホロポーションの実証実験

提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

実証実験/PoC段階

- 3Dホログラムを既存のCADデータ等から簡単に作成できるため、3Dデザインの専門知識が無くても、ノンプログラミングでアニメーション動作を付与し、コンテンツ化できる。
- 離れた場所でも、作成された3Dホログラムやコンテンツを共有できるため、遠隔地への作業支援・教育・研修として活用することで、距離を超えたコラボレーションワークが可能に。

概要

- MR空間にて、3Dホログラムの共有や、3Dホログラムのアニメーションによる作業手順の共有を遠隔拠点間で実現します。
- 離れた拠点同士でも、MRゴーグルやタブレット、スマートフォンを使って、その場で同じ仮想空間を共有し、作業手順を確認することが可能になります。
- 5Gを活用することで、膨大な3Dホログラムのデータでもスムーズに扱うことができます。
- 将来は、人物も視線や表情だけではなく、姿勢や仕草などのソーシャルシグナルも含めて3Dホログラムで投影することをめざします。

コラボレーションパートナー

MXモバイリング株式会社、DataMesh株式会社、NTTドコモは、働き方改革に貢献できる新たな協創ソリューションの実現に取り組んでいます。

